

大六一志先生が語る

1

2026

18

SUN

\\ いまさら聞けない心理の授業 //

WISC-V

オンライン研修会

解釈と支援 - アップデート -



今回の研修会について

本研修では、知的能力の個人内差（得意・不得意）の特徴を把握し、知的障害や発達障害のアセスメントに活用するための、より実践的なアセスメントについてお話します。

知能検査の結果は数値に注目されがちですが、得点だけでは正しい解釈にたどり着くことはできません。他の心理検査結果、行動観察、および背景情報を総合的に収集・分析することが不可欠です。FSIQ(全検査IQ)や主要な指標得点の解釈に留まらず、3つの観点からWISCの活用法をお伝えしようと考えてます。

- 1 解釈のメカニズムの理解** 検査結果が示す能力特性が、日常生活でどのように現れるかを学べます。
- 2 実践的な支援法の習得** 検査結果から導き出される具体的な支援法や補償法を学べます
- 3 最新情報のアップデート** 昨年開催した研修会から、アップデートされた情報と、より効果的なアセスメントのあり方についてお伝えします。

日時 2026年1月18日 [日]

午前の部 10:00 ~ 12:00

午後の部 13:00 ~ 16:00

当日はライブ配信です。オンデマンドはございません。

参加費

一般の方 8,800円(税込)

学生の方 4,400円(税込)

[お申込みについて]

下記のウェビナー公式サイトをご一読ください。
ページ下部にお申込みフォームのページへのリンクがありますので
そちらから必要事項をご入力の上お申込みください。

講師

日本臨床発達心理士会茨城支部支部長

大六一志先生

日本臨床発達心理士会茨城支部支部長、放送大学客員教授、博士（心理学）。公認心理師。臨床心理士。臨床発達心理士。特別支援教育スーパーバイザー。WISC-IV、WISC-V、WAIS-III、WAIS-IV、WPPSI-III の日本版刊行委員を務める。健診委員、巡回相談員、特別支援教育アドバイザー、顧問等。著書・論文多数。

受講対象

医療、障害福祉、教育機関等で
心理検査に携わる専門職・学生の方

医師、臨床心理士、臨床発達心理士、公認心理士、特別支援教育士精神保健福祉士、社会福祉士、言語聴覚士、カウンセラーなどの専門職。
心理を学ぶ大学院生。

日本臨床心理士資格認定協会 短期型研修会として承認（2P）

お申し込みは
こちらから

ウェビナー公式サイト

<https://epsilon.jp/event/202601seminar/>



医療法人イプシロン 知能発達検査室 主催